

名稱

外ニ、容量ヲ以テ名トスルアリ、十三合升ノ類是ナリ、所用ヲ以テ名トスルアリ、家用升ノ類是ナリ、土地ヲ以テ名トスルアリ、京升ノ類是ナリ、質ヲ以テ名トスルアリ、銅升ノ類是ナリ、特ニ足利氏ノ末ニ至リテハ、種類頗ル多ケレド、皆一家一寺ノ私用タルニ過ギズ、

〔倭名類聚抄十四量〕升

陸詞切韻云、升音昇和麻須、十合器也、

〔伊呂波字類抄未員數〕升マス

十合器也、

〔倭名類聚抄十四量〕斗

附斗櫛

陸詞切韻云、斗當日反、十升器也、字亦作斗、見唐韻

〔書言字考節用集七器財〕斗

升ス升之大者

〔倭名類聚抄十四量〕半石。唐令私記云、大倉署函斛、函者受五斗、形如此間酒槽耳、今按函稱半石者、又半宜作斛、見四聲字苑、

〔伊呂波字類抄波員數〕半石

以五斗盛量之器也

〔倭訓栄前編二十九〕ます○中、增益をいふ、略、中量をいふも、數量は多少を知るの器、次第に加倍する物なれば増と同義なるべし、斗升を訓ずるも同じ、合を一合ますといひ、斗を二ますといひ、又半石をはかる器を函といふ、石は十斗也、

〔成形圖說農事〕麻須○中

麻須とは倍なり、勾抄を倍て升より斗、斗より斛といふを以てなり、

〔日本書紀十五顯宗〕二年、歲比登稔、百姓殷富、稻斛銀錢一文、

斛斗升合

〔萬葉集十一〕正述心緒

百積船潛納、八占刺母雖問其名不謂、

〔拾遺和歌集二十〕大僧正行基よみ給ひける

百さか草、據一本改、に八十。さかそへてたまへりし乳ぶさのむくい今日ぞわがする